

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月29日更新

事務事業名		熊本県農業会議参画事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	農業委員会	課長名	安永恵藏
	施策	6	計画的な土地利用の推進			所属課	農業委員会	担当者名	中村房昭
	基本事業	17	農業振興地域の形成			所属班	農地班	(内線)	1182
予算科目	会計一般	款6	項1	目1	事業連番10177	法令根拠	農業委員会等に関する法律		成果優先度評価結果 : ⑫ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	農業会議との連絡調整及び会議、研修会等に積極的に参加し、農業委員会職員及び農業委員としての知識向上を図る。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	各農業委員への通知、研修会の同行・参加
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金、旅費
【意見や要望】	なし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。	熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ア:研修に参加した人数	人 農業委員研修会増による費用弁償の増
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
・農業委員会事務局職員 ・農業委員	→ア:農業委員会事務局職員数 人 イ:農業委員数+農地利用最適化推進委員数 人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
・農業委員の現状及び最新情報を入手できる。 ・農業委員会に関する知識を身につける	→ア:新たな知識を身につけた委員の割合 % イ:新たな知識を身につけた職員の割合 %
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠	
平成25年2月27日に農業委員の改選が行われ、大幅に交代したので、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加し、農業委員としての知識を身につけるため。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度 実績(決算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	26年度 実績(決算)	27年度 目標(当初予算)	28年度 予定	29年度 見込	30年度 見込	
①活動指標	ア	人	32	31	31	30	31	40	40	40	
	イ										
②対象指標	ア	人	4	4	4	4	4	4	4	4	
	イ	人	28	28	28	27	28	36	36	36	
③成果指標	ア	%	100	100	100	100	100	100	100	100	
	イ	%	100	100	100	75	100	100	100	100	
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円								
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	(A)事業費計	一般財源	千円	234	218	267	243	386	272	272	
		(A)事業費計	千円	234	218	267	243	386	272	272	0
		(A)のうち指定経費	千円	148	148	148	148	148	148	148	0
	(B)人件費計	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	0	0
延べ業務時間		時間	42	44	40	44	40	40	0	0	
(B)人件費計	千円	170	175	159	175	159	159	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	404	393	426	418	545	431	272	0	

事務事業名	熊本県農業会議参画事業	所属部	農業委員会	所属課	農業委員会
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加する。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業は無い。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 拠出金については、県下統一した算定方法(均等割り及び農家個数・農地面積応じた割合)により算定されており、削減は困難である。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 職員に限られるため、削減できない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 拠出金については均等割りと残額を農家個数・農地面積で算出しており公平・公正である。
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 農業委員としての知識を身につけるため、他での対応はできない。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

熊本県農業会議に負担金を支払い、農業委員会に関する情報を定期的に入手し、農業委員会に関する研修に参加した。毎年新たな知識を身につけるためには、毎年参加する必要がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						